

1 はじめに

本校は、明治43年（1910年）長野県埴南農蚕学校として創立、本年で110年目を迎える全日制普通科の高校です。卒業生数は11,749名。その多くが地域社会を支える人として活躍しています。本年度より、1学年2クラス（80名）募集となりました。同時に長野県教育委員会の「未来の学校」構築事業の中の「少人数学級を研究する高校」の実践校に指定され、80名を3クラスに展開し、1クラス当たり27名を上限とする**少人数学級編成**を行っています。また、昨年度より、経済産業省の「未来の教室」実証事業のモデル校として指定を受け、「**個別最適化学習(アダプティブ・ラーニング)**」と**地域連携型**の「**STEAM型探究活動**」の実証に取り組んでいます。このように、現在進行形で変化しつつある坂城高校を、次の視点からご紹介します。

2 キャリア教育の充実

本校では、平成18年度より「**3Cで行こう**」をキャッチフレーズに、地元坂城町の皆様の全面的なご協力のもと、「**キャリア教育**」に力を入れてきました。昨年度より「総合的な探究の時間」先行実施に合わせ、名称を「**坂城学**」とし、1年から3年までを通して系統的な学習を進めるカリキュラム作りを行っています。

1年時には、「**保育体験実習**」や「**坂城町企業見学会**」を実施し、2年時には、企業の現場で学ぶ「**インターンシップ**」を行います。また、異なる文化を持った人々との交流を目的に、修学旅行では「**民泊体験**」も行います。学習活動においては、生徒それぞれが、与えられたテーマに対して「**問い**」を立て、その問いに対する納得解を見つけるために、調べ学習、体験学習（フィールドワーク）や教科横断型の学習を仲間と協働して進め、最後に、自らの力で到達した納得解を他者に伝えることを通して、実社会において有効な、真の学びに近づけていく「**STEAM型探究活動**」の実現を目指して取り組んでいます。昨年度は、1年生を対象に、「坂城町企業見学会」を学習の中心に据え、事前・事後学習の充実のため、外部事業者の支援による学習プログラムの構築と、生徒に学びの姿勢を身に付けてもらうための**学生メンター**の活用を行い、これまでにない、生き生きとした生徒の学習場面を随所に作り出すことができました。

「3C」とは？

Communication

人と人の結びつきを大切に、お互いを高め合う姿勢を持つ

Collaboration

地域社会の一員として、様々な価値観を持つ人々と協働できる姿勢を持つ

Career

自分自身を向上させ、進路に向けて自ら主体的に進んでいく姿勢を持つ



① 保育実習体験

1年生全員が、グループに分かれて、坂城町内の4か所の幼・保育園に、6月から7月にかけて2回～3回保育体験を行います。事前学習も、園の先生方に来校いただき、園児の生活の様子から、実習時の対応方法について個別具体的にお話しいただくとともに、当日の活動にスムーズに入るために、折り紙や切り絵、絵本の読み聞かせなどについても準備して臨みます。多くの生徒は、自分たちを無条件で受け入れてくれる園児との交流を通して、**コミュニケーション力**を身につけ、「人の役に立ちたい」と思う**自己有用感**を育ててい



きます。

② 企業見学会とインターンシップ

本校生の約6割が、卒業後、就職を希望し、進学者もそのほとんどが、最終的に地元企業への就職を果たします。このような本校生にとって、インターンシップによって実際の現場の仕事に触れることは、職業人としての意識を高めるうえで大きな意義を持っています。さらに、この学習を単なる体験学習に終わらせることのないよう、1年次の「坂城町企業見学」の段階から、一人ひとりが主体となって、探究的に学ぶ姿勢を身に付けてもらうよう学習計画を立てています。これにより、2年次の「インターンシップ」における学びの質を高め、最終的に、3年次に自分の特長を理解した進路選択につなげられるよう学習を進めています。この一連の過程で、ICTを活用した「**STEAM型探究活動**」による学習は大きな力を発揮しています。



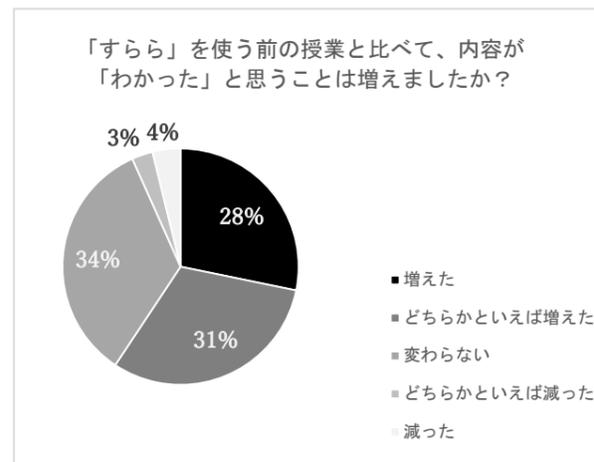
3 個別最適化学習

本校では、昨年度より、**生徒一人に1台パソコン**を貸与し、**AI活用型学習アプリ「すらら」**を活用することで、「**個別最適化学習**」のできる環境を整え、どのような学習効果が上がるかを検証してきました。

「**個別最適化学習**」とは、生徒個々の理解度と学習進度に応じて、適切な学習教材を個別に提供し、それぞれの生徒が自分のペースで学習を進めることができるようにする学習方法です。今回の実証で、先生は、生徒一人ひとりの学習の進捗状況をリアルタイムで把握することが可能となり、生徒個々の学習進度に応じた、よりきめ細かな指導が可能となることわかりました。また、生徒にとっても、自分のペースで学習を進めることができることで、同じ教材を一斉に取り組む従来のやり方に比べ、より学習意欲が高まっていることも確認できました。

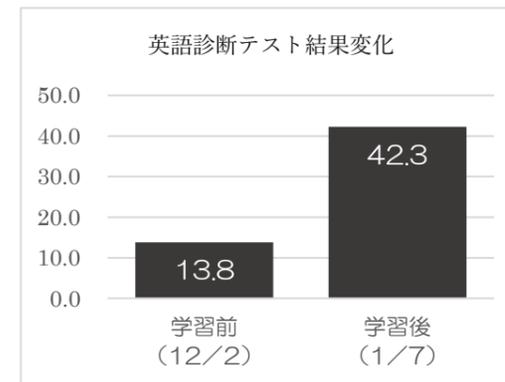


本校では、来年度以降も「**個別最適化学習**」を実現するために、来年度入学生より、一人1台、パソコンを購入いただく方向で検討を進めています。購入機種や購入方法等については、早めに本校のWebページ等でもお知らせしますのでご確認ください。



この項目以外に、「集中力が高まった」「授業がわかるようになった」「学習時間が増えた」の各項目における肯定的な意見が半数以上を占めている。

～1学年、「すらら」学習後アンケートより



英語において、一般動詞の単元(中学校レベル)について、「すらら」の診断テスト機能を活用して学習前と学習後で試験を実施し平均点を比較したものである。学習前、0点の生徒が約14%存在していたが、学習後に0%になった。これは、元の学力層を問わず学習の効果が出ていることを示しているとみられる。

4 「坂高プレス」について (URL:<http://sakakihs.net/>)

坂城高校のWebページにある「坂高プレス」では、坂城高校の日々の生徒の活動の様子をリアルタイムにお知らせしています。「坂城高校の今」を是非ご覧ください。



「坂高プレス」
携帯用QRコード